

SDGs 実践プログラム in ラオス 募集要項

1. プログラム概要

本プログラムでは、参加者が、2015年に国連で定められた世界の貧困削減、質の高い教育の提供や環境分野での協業等を目標とした「持続可能な開発目標（SDGs）」の理解を深め、よりよい未来像に貢献できるグローバル人材としての資質を養うことを目的とします。今回訪問するラオスでは、労働人口の約70%が農業に従事し、主に稲作農家として生計を立てていますが、肥料や農薬を使わず、灌漑設備も整っていないため、天候に左右され生産量は安定していません。また山がちな地形により交通網も整備されておらず、農村部への教育・保健・社会サービスの供給も困難な状況です。今回は、ラオスの低地稲作農村地域をターゲットとし、そこからSDGsの達成状況についてテーマごとの実情を学びます。視察や交流を通して、SDGsの目標を達成するために自分達ができるアクションについてグループで考え、実現したい世界の未来像を設計します。



<本プログラムの目的>

- (1)ラオスにおけるSDGsの各分野の中で、特に教育(目標4)・環境(目標6・13・14・15)・農業分野(目標8・9・12)の現状や達成状況について、人口の大半を占める【低地稲作農家】をターゲットとし、彼らの視点から考え、課題やニーズを理解する。
- (2)低地稲作農村地域が直面するSDGsのテーマに関連した課題について、自分たちは何ができるか、具体的なアクションを立案する。
- (3)(1)、(2)での経験を通じて、SDGsを「自分ごと」として理解・行動し、よりよい未来に貢献できるグローバル人材の資質を身につける。
- (4)本プログラム全体を通じて、コミュニティ形成や活動を牽引するリーダーとしての資質を養う。

【募集人数】 10名程度 ※10名に満たない場合、プログラムを中止することがあります。

【対象】 本学学部生

2. スケジュール案

渡航前の事前学習会および帰国後に成果報告会を実施します。これら全てに出席するとともに、成果報告書の作成・提出を行うことが参加および参加費補助の必須条件となります。

①事前学習会:2019年1月19日(土)

②現地学習:2019年3月3日(日)~3月8日(金) ラオス パクセ

月日	場所	交通	行程
3月3日			関西空港深夜便利用 関西国際空港発 23:45 発□□□ タイ・バンコク(ドンムアン空港)へ
3月4日	(深夜便) 関空発 着 ウボンラチャタニ経由 パクセ着	飛行機 空港ピックアップ	タイ・バンコク(ドンムアン空港)着 04:00 着 ***** タイ・バンコク(ドンムアン空港)発 07:40 発 □タイ・ウボンラチャタニ着 08:55 着 到着後、陸路にて国境を超えてラオス・パクセへ オリエンテーションとラオス語会話レッスン ツムラ株式会社 訪問 教育活動準備(各チームのテーマに併せて実施検討) 夕食 振り返り 【パクセ/Forest Hotel 泊】
3月5日	パクセ	借上げバン	午前: ダオフアン市場見学 ゴミ処理場視察 浄水場視察 午後:小学校訪問 教育活動実施 (必要に応じて、体育教育・環境教育等自分たちの取り 上げたいテーマでの授業を実施可能) 先生へのインタビュー 振り返り 夕食 在パクセ日本人との懇親会(JOCV 含む) 【パクセ/Forest Hotel 泊】
3月6日	パクセ	借り上げバン	午前:チャンパサック病院見学 Killy 村へ移動 Killy 村で butterfly pea 農園訪問(ツジコー株式会社) 午後:チャンパサック大学で交流会 SDGs テーマに関する意見交換(検討中)※1 振り返り 【パクセ/Forest Hotel 泊】
3月7日	パクセ発 バンコク	借り上げバン	午前:パクセ工業団地の日系企業訪問(調整中等) グループで SDGs テーマに関する目標達成のための アイデア発表 午後:移動:サワンナケートから陸路で国境を越える ウボンラチャタニ空港 19:45 発→バンコク ドンム

			アン空港 20:50 着 バンコク発 01:15 発 【機中泊】
3月8日	関空着	飛行機	関西国際空港着 08:40 着

※上記フライト時間と訪問先・時間は、航空会社や現地事情などにより予告なく変更になる場合があります。

※毎日グループ毎の振り返りを実施予定。

※1. 環境・教育・農業等テーマごとに分かれ SDGs の目標と現状に関して意見交換を現地の学生と行うことを想定。

③成果報告会: 2019年3月23日(土)

3. 費用

【参加費】 7万5千円(予定)

本プログラムは「立命館大学学びのコミュニティ集団形成助成金(正課外プログラム)」の対象プログラムであり、本プログラム全体費用のうち上限10万円まで補助いたします。現時点ではプログラム全体の費用は17万5千円を想定していますので、参加費は7万5千円を予定しています。ただし、燃油サーチャージの増減があった場合は、参加費が変更となる可能性がありますので予めご了承下さい。

参加費振込期限: 2019年1月18日(金)

採用決定後に参加費のお振込みをお願いいたします。振込口座については結果通知のご連絡と共にご案内いたします。

【参加費用に含まれるもの】

航空券、現地宿泊費(朝食代含む)、現地での移動にかかる費用、その他コース運営にかかる費用等が含まれています。

【参加費用に含まれていないもの】

空港までの交通費、各種ワクチン接種代、海外旅行保険、日本国内交通費、昼・夕食代、その他個人的な出費、パスポート取得にかかる費用(必要な場合)、ビザ代(ラオス入国に対して必要なビザ取得等に関わる手続き・費用)等は含まれていません。

【キャンセル料の取り扱いについて】

採用確定後の辞退は原則認められません。辞退や不参加となった場合、キャンセル料の実費を負担いただきます。なお、辞退やキャンセルの場合、助成金の対象とはなりませんので、参加費を超えたキャンセル料が必要となる場合もありますので予めご了承下さい。

4. 応募・選考について

募集期間：2018年11月19日(月)～12月10日(月)

応募資格：

必須条件

- ① 本学の正規学部学生であること
- ② 学籍状態が「在学」または「留学」であること
- ③ 今年度停学の懲戒を受けていないこと
- ④ 以下に挙げる「受給者の義務」を果たすことを誓約できること
 - ・活動報告書（成果報告書）を提出すること（現地学習終了後に提出）
 - ・成果報告会（事前学習会を含む）に参加すること
 - ・本大学から求められた場合は成果発表を行うこと

望ましい条件

- ① 日常会話程度以上の英語力、および、言語に関わらず積極的に現地の人と話すバイタリティがあること
- ② （留学生の場合）日本語での議論についていける日本語能力

【出願書類入手方法】

manaba+R から入手可能です。

【出願方法】

提出先・問い合わせ先：学生オフィス窓口へ提出ください。

衣笠学生オフィス 研心館2階（電話：075-465-8167） 担当：加藤・西田

BKC学生オフィス セントラルアーク1階（電話：077-561-3920） 担当：安原・本田

OIC学生オフィス A棟1階（電話：072-665-2130） 担当：古瀬

【出願締め切り】

2018年12月10日（月）17時（厳守）

【選考方法】

出願書類に基づき書類選考により採用者を決定します。必要に応じて面接や電話での聞き取りを実施する場合があります。

なお、本プログラムでは、「本プログラム全体を通じて、コミュニティ形成や活動を牽引するリーダーとして資質を養うこと」を目的の一つとして掲げています。また、本プログラムの活動を通じて目的をもって学生生活を送り新たな課外活動や「+R 校友会未来人財育成奨学金」「学びのコミュニティ集団形成助成金（正課外自主活動）」等、更なる課外自主活動参加への拡がりを期待していることから、応募者が多数の場合は低回生の採用を優先させる場合があります。

また、採用後、プログラムへの活動意欲が見受けられない場合、採用を取り消す場合があります。

【結果通知】

2019年1月10日（木）に manaba+R で通知します。

※ 結果通知後速やかにパスポートデータを提出してもらいますのでご準備ください。

【その他】

① パスポートについて

パスポートの有効期間が「滞在期間+6ヶ月以上」であることが必要です。出願までに用意できない場合は、事前に相談してください。航空機の手配にもパスポート（氏名ローマ字表記）が必要となります。パスポートの有効期間が足りない場合は、パスポートの再発行を行っていただきます。パスポート取得にかかる費用は自己負担です。

② 海外旅行保険について

各自、渡航の全行程をカバーする海外旅行保険への加入が必須です（クレオテック）。海外旅行保険 加入にかかる費用は自己負担です。

③ 健康管理について

海外留学健康の手引きを読んで、渡航に関する情報収集を事前に行ってください。

海外留学 健康の手引き QR コード→



④ その他注意事項

- 現地学習は、予定の内容から変更になる場合もありますので、予めご了承下さい。
- プログラムへの参加および渡航手続等に関し、事務局の指示による手続き等を遵守しない場合、採用資格を取消す場合があります。
- 本学が指定する往復の航空便の利用を全員に義務付ける他、病気等やむを得ない理由と大学が認めた場合以外は、コース途中での離脱、途中合流、途中帰国はいつさい認めません。
- 本プログラムは、単位の対象とはなりません。

以上